



平成21年7月27日
卓話 『RI会長方針とクラブの関係について』
山の手東グループ ガバナー補佐
東京城西ロータリークラブ
鍋木 享様



2009-2010年度国際ロータリー第2750地区久邇邦昭ガバナーより、山の手東グループのガバナー補佐を委嘱されました東京城西ロータリークラブの鍋木享と申します。

ジョン・ケニーRI会長（スコットランド・グランジマスRC）は「ロータリーの未来はあなたの手の中に」というテーマを掲げ、「水・健康と飢餓、識字率向上」を強調事項としております。スコットランドに「自分の庭の外に目を向けよ」という諺があり、ロータリークラブとしても、世界に目を向けて、大きな視野で活動をして欲しいという願いをお持ちであるようです。

当地区の久邇邦昭ガバナーは、神職として伊勢神宮の大宮司をなされた後、現在は神社本庁の総理としてご活躍されておられます。お話の中で、良く鎮守の森の話など、自然に対しての思いを仰っておられますので、ロータリーテーマと共に、地区としても「ロータリーの未来はあなたの手の中に」に相応しい活動をしていくお手伝いが出来ればと考えております。

2009年～10年度に向けて3月より各クラブ会長幹事10クラブ20名にてグループ協議会を3回開催し、7月には20クラブで合同協議会を開催しました。各クラブより活発なご意見を頂き、インターシティミーティングを各クラブの大事な資金を出し開催するかに議論が集中しました。

貴重な時間と資金を使い何が残せるのか？全員参加に出来るか？米国では国が広くクラブとの交流の為、年1回インターシティミーティングを必要としておりますが、東京でも他のクラブがどんな活動をしているかを良く知っているロータリアンが少ない事を知りました。

そこで山の手西グループの原田ガバナー補佐に相談し、山の手西グループ、山の手東グループ、

合同インターシティミーティング、20クラブで青山ダイヤモンドホール（東京都港区青山3-6-8）にて11月9日開催を決定いたしました。

企画案として、I・M会場内に20クラブのブースを作り各クラブで行っている奉仕プロジェクトの発表など、例えば東京恵比寿R・Cでは国際大会での展示、ネパールプロジェクト、東京杉並R・Cではロータリーハイウエーの実現に向けた報告、東京城西R・Cではインターンシップ・ジュニア支援事業の紹介、東京青山R・Cでは介護犬のデモンストレーション。

各クラブよりブースを作って貰うことで全員参加になると思われま

す。第二案として植樹とチャリティーオークション、鎮守の森について講演でお話をされる久邇ガバナーの想いと東京オリンピック開催への東京都知事の想いも乗せ、桜100本を街路地にと考えています。

出来るだけ各クラブに負担を掛けないようにオークションも一案と考え思案しています。第三案はロータリアンの関心の高い講演者を探す事です。

このような貴重な案を立てさせて頂き、山の手西グループの原田ガバナー補佐、京谷グループ幹事、山の手東グループ古屋グループ幹事で実行委員長を城西ロータリーより片倉翼会員にお願いし各クラブより委員を選任し、今期のガバナー補佐として最も大事なインターシティミーティングを成功に導きたいと考えております、

是非一層のご支援とご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い致します。

